



思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u

つなぐ

3.11 を忘れない
今、わたしたちにできること



Vol. 2
2013. 10

発行
つなげよう
脱原発の輪
上越の会

あなたの声を泉田県知事に届けよう～！

つなげよう脱原発の輪・上越の会では、このたび泉田県知事に対して「柏崎・刈羽原発の再稼働に反対し、廃炉を求める署名」をスタートしました。

泉田県知事は再稼働についてどう思っているの？

原発 NO!

知事は、東京電力の再稼働に向けた、原子力規制委員会への安全審査の申請を条件付きで9月に認めました。
東電とのやり取りの中で、福島原発事故が収束しておらず、検証と対策が行なわれていないこと、また、きちんと事故の責任を取っていないことを指摘しました。会見では、県民のいのちが守られるという前提なしに再稼働の議論はありえないと述べ、また、申請を承認したことと再稼働の話は別であると明言しています。



署名の目的は？

私たちは、いのちを脅かす「柏崎・刈羽原発の再稼働を認めないこと」はもちろん、「廃炉に向けて、新エネルギーによる電力事業の推進と雇用の創出」を行うことを求めています。
また、署名活動を通じて多くの方に原発について関心を持っていただき、一緒に考えていただきたいと思っています。
この署名は県知事宛てのものですが、県内各市町村の行政や各議員の方々も住民のいのちを守る立場は同じ。住民を原発の危険から本当に守ることができるのか、原発の存在そのものを問うことから、今一度真剣に考えて欲しいと思っています。



あなたは知っていますか？
原発の寿命がたった40年であること。原発から出る核廃棄物は何万年も厳重に保管しなければならず、子々孫々まで危険を及ぼすこと。核のゴミは日本に19,000tあり、柏崎・刈羽原発では、あと3年でいっぱいになってしまうこと。ゴミの最終処分場をどこに作るか決まっていけないことを。
そして、私たちが、原発に依存することに別れを告げ、新しい未来へと舵を切るその歴史的転換点に立っていることを。



今こそ知りたい！柏崎・刈羽原発のこと

柏崎・刈羽原子力発電所とは？

柏崎市と刈羽村にまたがる東京電力の原子力発電所。1号機から7号機まであり、総出力は821万キロワットで世界最大。全号機が、福島第一原発と同じ沸騰水型軽水炉。使用されている燃料は、全号機合計で、ウランが960t、燃料集合体は5,564体あり(1体にウラン172Kg含む)、3~4年ごと廃棄物に。総建設工事費は、用地費含めて2兆5,710億円。発電された電気は群馬県から山梨県を経て首都圏に送電されている。



柏崎刈羽原子力発電所全景



1号・2号・3号・4号 (上が海側) 5号・6号・7号

柏崎・刈羽原子力発電所・沿革

- 1969年
 - 柏崎市、刈羽村発電所誘致決議
 - 東京電力が建設計画正式発表
- 1970年
 - 柏崎原発反対同盟結成
- 1985年
 - 1号機営業運転開始
 - (97年までに全号機の運転を開始)
- 2003年
 - 東京電力のトラブル隠蔽により全号機停止
- 2007年
 - 中越沖地震で震度6強を観測。最大で想定の3.6倍の衝撃力が加わったことにより、2、3、4、7号機が自動停止。(他は定期検査中)3号機変圧器から火災のほか、発電所内で3,700箇所が破損。新潟市で毎時0.153マイクロシーベルトを観測。(その年の年間放射線量は1.34ミリシーベルトで、一般公衆許容年間被曝線量1ミリシーベルトを超えた。)
- 2009年~11年
 - 7、6、1、3号機が順次運転再開
- 2011年
 - 東日本大震災
 - 福島原発事故により、順次定期検査に入るが再開停止状態となる。
- 2012年
 - 6号機の定期検査を最後に全号機停止
- 2012年
 - 全7基運転差し止め提訴
- 2013年9月
 - 東京電力が新潟県の事前承認を経て、原子力規制委員会に安全審査を申請

お話を伺いました



元刈羽村村議
原発反対刈羽村を守る会
武本和幸さん



私たちが柏崎・刈羽原発が誘致されると知って反対運動を始めたのは1968年頃のことです。その頃はまだ中学生が2割あった時代でした。当時、反対運動には、学生運動の流れを受けて、地元にもいろいろな情報や支援が入って来ていました。

当時の推進派は、これからの時代は電気の需要が多くなるという言葉の論拠のもと、原発が安全であり、安い上に、地元の経済が潤うと、良いことばかりを強調していました。実際、東電は、地権者から当時の相場で一反5万円の土地を1000万円で購入するなど、金にものを言わせるひどいものでした。福島事故があって、現地では大変なことになっていいます。柏崎・刈羽原発でも同じような事故が起こる可能性があります。福島のことを人ごとではなく、我がこととして、ぜひ皆さんにも考えていただきたいと思います。

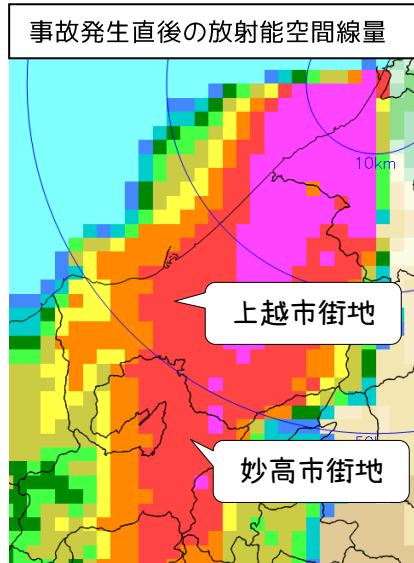


柏崎・刈羽原発で福島原発同様の事故が起きたらどうなるの？



福島の事故では、放射性物質のほとんどが太平洋に流れましたが、上越地域では、海から陸に向けて風が吹くことが多く、北東の風が吹いた場合には、下記のシミュレーションのように、西南に位置する上越に放射性物質が流れて来ます。また、柏崎・刈羽原発は福島第一原発の4倍の出力を持つため、福島の事故のセシウムの飛散量が広島原爆の168発分であったとの推定に対して、その4倍の原爆672発分が飛散することが想定され、その被害は福島を大幅に上回る深刻な事態になると考えられます。

紫色のエリアは、国で決められている一般公衆許容年間被曝線量の1ミリシーベルトを一日で超えますが、この想定値は、風速2m/秒で計算されているため、風がより強く吹けば、より遠くに、早く届くこととなります。また、原発から避難準備区域とされる半径30Km内に住む人は、福島の20万人に対して、柏崎・刈羽原発の場合は60万人もあり、確実に安全に退避できるのか、防災計画は困難を窮めています。



μSv/h	1日あたりの線量 単位/ マイクロシーベルト	年間積算値 単位/ ミリシーベルト
50.00000	紫色 1.20 以上	→ 438
20.00000	赤色 0.48 以上	→ 175
10.00000	橙色 0.24 以上	→ 87
5.00000	黄色 0.12 以上	→ 43
2.00000	薄茶色 0.04 以上	→ 14
1.00000	黄緑色 0.02 以上	→ 7
0.50000	緑色 0.01 以上	→ 3.6
0.20000		
0.10000		

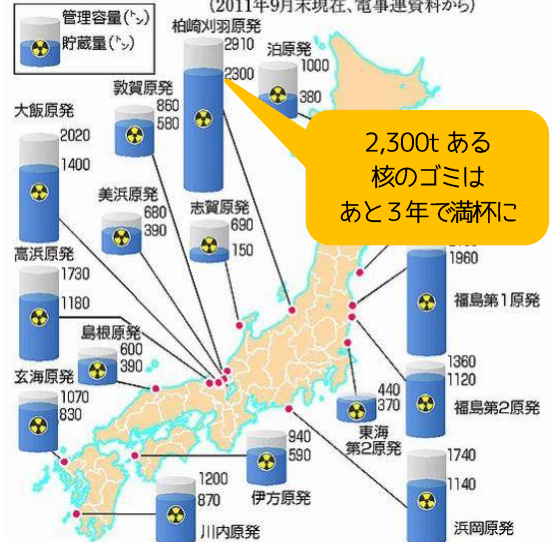
↑ 1時間あたりの線量/マイクロシーベルト
空間線量率発生強度400%(柏崎・刈羽原発は総出力で福島原発の4倍のため)北北東風2m/s

環境総合研究所「原発事故想定シミュレーションシステム」による想定値

核のゴミは？

全国原発では毎年1,000tの使用済核燃料が発生し、各発電所で保管されています。柏崎・刈羽原発には2,300tあり、あと3年で満杯になります。使用済核燃料は青森の六ヶ所村の再処理工場で再燃料化する予定でしたが、相次ぐトラブルで停止しており、また、核のゴミの最終処分場をどこにするかのめども立っており、国の核燃料サイクル計画は行き詰まりをみせています。

各原子力発電所の使用済み燃料管理容量と貯蔵量 (2011年9月末現在、電事連資料から)



地震は大丈夫？

原発の周辺には、海や陸、原発直下にも多数の断層があることが指摘されており、建設当時から「豆腐の地盤」と地元では言われていました。2009年の沖ノ尾地震の際には、震度6強の揺れを観測し、想定3.6倍の衝撃力が加わったことで原発設備の3,700箇所を破損し、過去最大の放射線量を新潟市で観測しました。

原子力規制委員会がこれらの断層について、13~12万年前以降のものに限定して判断するのか、それとも40万年までのものまでさかのぼって判断するのか、安全審査の行方が注目されます。



《活動報告》

8/18 くびき野市民活動 フェスタに参加しました



脱原発に関心のない方にも気軽に来ていただきたい。そんな思いに賛同して下さったお店のご協力のもと、当日は500名をこえるみなさんにご来場いただきました。当日はマルシェで楽しんでいただいたり、私たちの原発に関連する掲示物や企画にも関心を寄せていただきました。初めてのマルシェ形式での企画と言うことで、手探りでの開催となりましたが、たくさんの方々にご協力していただき無事に終わることができました。心から感謝申し上げます。来年は課題を見直し、より良いものにしていけたらと考えています。

(有)栄喜堂様(本町5)と竹内直子税理士事務所様(中央5)には、特別協賛いただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

8/25 県内一斉署名活動を行いました



賛同している団体の内、6団体が県下一斉に県知事あての署名活動を行いました。謙信公祭に訪れた県内外からの方も含め300名の方から署名いただきました。

《イベント情報》

- ◆「フタバから遠く離れて」上映と
前双葉町長井戸川克隆さん講演会
日時 11月4日(月・祝日)
10:20~12:00 映画上映 1回目
13:00~15:00 井戸川克隆さん講演
15:10~16:50 映画上映 2回目
会場 長岡市中央図書館 2階講堂
参加費 1000円 中学生以下無料
主催 3.11福島を忘れない!
長岡実行委員会(0258-34-6483)

《募集中》

- ◆支援物資・カンパ・ボランティア
任意団体「高田教区震災支援有志会」は、福島で生活物資を必要としている人たちのための「青空市場」(福島県二本松市)に毎月物資を届けたり、現地で炊き出しなどを行っています。詳しくはお問い合わせください。
連絡先 豊島さん(090-7270-4078)

《当会の今後の予定》

- ◆ 10.13 原発ゼロ統一行動への参加&署名活動
日時 10月13日(日)
会場 国会議事堂周辺
- ◆ 勉強会
毎月第一木曜日 19:00~21:00
会場 上越市市民プラザ
- ◆ 事務局ミーティング
毎月第三金曜日 19:00~21:00
会場 上越市市民プラザ 2F 市民活動室
どなたでも気軽に参加できる会です。ぜひ一度顔を出してみませんか?

《お願い》

- ★ 会報「つなぐ」を置いて下さるお店や場所を募集しています。
- ★ カンパを募っています。応援よろしくお願ひいたします。
ゆうちょ銀行 11260-13169471
名義・つなげよう脱原発の輪上越の会

編集後記

刈羽村で原発建設当初から反対を訴えて来られた武本さんの活動は45年になる。7基もの原発が建てられるのをまざまざと見せ続けられた45年。負け続けてきた45年。いつかその目をくるりとひっくり返す、その日を、私たちのずっと前から活動されてきた方々と一緒に成し遂げたいと思う。(K)

つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表 植木 史将

090-4962-9633